

■ まるっとミュージアム施設紹介

瀬戸蔵ミュージアム



瀬戸焼のすべてがわかる博物館。

◆蔵所町1-1 ☎97-1190  
開館時間/9:00~17:00  
(最終入館16:30)  
定休日/月一回程度臨時休館、  
年末年始  
入館料/一般520円、  
高校・大学生・65歳以上  
310円、  
中学生以下無料



新世紀工芸館

陶磁器とガラスをテーマに作品  
を展示。研修生の制作風景を見  
学できます。



◆南仲之切町81-2 ☎97-1001  
開館時間/10:00~18:00  
(最終入館17:30)  
定休日/火曜(祝休日の場合は  
開館、翌平日休館)、  
年末年始

招き猫ミュージアム

約5,000点の招き猫を展示する、  
日本最大の招き猫専門博物館。  
(2階のみ要入館料)



◆業師町2 ☎21-0345  
営業時間/10:00~17:00  
(最終入館16:30)  
定休日/火曜(祝休日は開館)、  
年末年始

■ 瀬戸市の主なイベント

- 4月 せと陶祖まつり
- 9月 せともの祭  
来る福招き猫まつり in 瀬戸
- 11月 ゆるり秋の窯めぐり
- 2月~3月 陶のまち 瀬戸のお雛めぐり
- 3月 愛・地球博開催継承事業  
瀬戸蔵ロボットアカデミー



せともの祭



来る福招き猫まつり



陶のまち 瀬戸のお雛めぐり

瀬戸観光案内所(バリエッセ1階)



瀬戸の観光情報の発信や、  
観光案内をしています。

◆柴町45 ☎84-1997  
営業時間/10:00~17:00  
定休日/年末年始

瀬戸市美術館(文化センター内)



陶磁器はもちろん、絵画、彫刻  
等の美術作品全般を展示。  
(要入館料)

◆西茨町113-3 ☎84-1093  
開館時間/9:00~17:00  
(最終入館16:30)  
定休日/第2火曜、年末年始、  
臨時休館あり

瀬戸染付工芸館

研修生の作業風景を見学でき  
るほか、歴史的名作の鑑賞、絵  
付け体験が毎日できます。



◆西郷町98 ☎89-6001  
開館時間/10:00~17:00  
(最終入館16:30)  
定休日/火曜(祝休日の場合は  
開館、翌平日休館)、  
年末年始

瀬戸信用金庫アートギャラリー



瀬戸信用金庫が所蔵する北川  
民次の作品を常時展示。

◆東茨町36-11 ☎82-3100  
開館時間/10:00~16:00  
定休日/月・火曜(祝休日は翌  
営業日)、年末年始

瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、  
周囲を標高100~300mの小さい山々に囲まれ、  
気候も温暖なまちです。「せともの(瀬戸物)」と  
いう言葉が、やきものの代名詞として広く知られ  
ています。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人  
たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、  
「せとものまち」を発展させてきました。陶器  
と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、  
ノベルティ(陶磁器製の置物・装飾品)、ファイ  
ンセラミックスなどが生産され、今も新しいもの  
づくりが続けられています。

愛知県瀬戸市までのアクセス



JAPAN HERITAGE SETO CITY LEAFLET

2020年4月発行

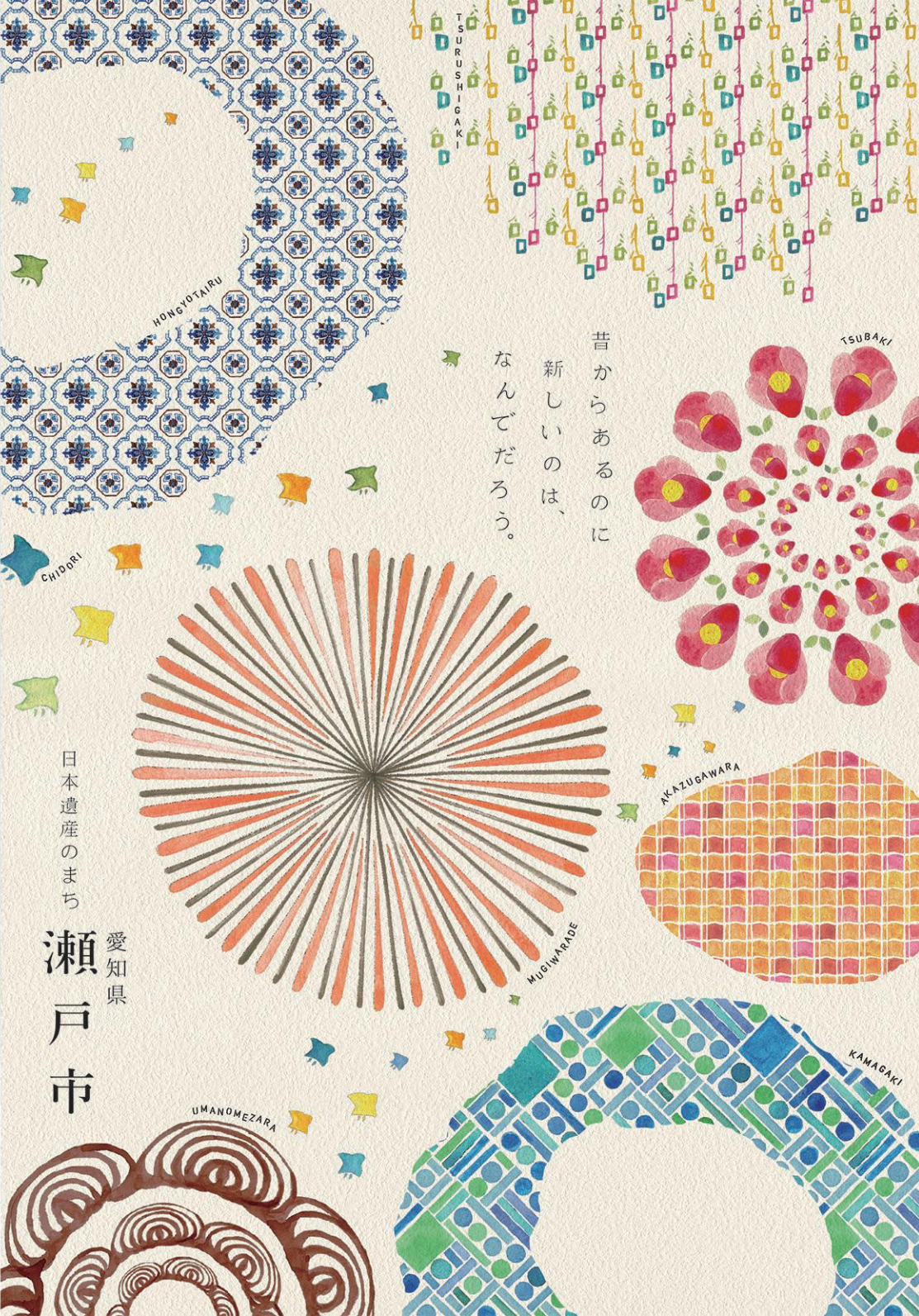
瀬戸市ものづくり商業振興課  
愛知県瀬戸市追分町64番地の1  
TEL: 0561-88-2807



瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会  
愛知県瀬戸市蔵所町1番地の1  
TEL: 0561-85-2730



瀬戸市の最新観光情報は [瀬戸市 まるっと](#) 検索



“日本遺産のまち瀬戸市”をめぐる

「日本六古窯」とは？

平安・鎌倉時代に陶器生産を開始し、現代まで生産が続いている  
6つのやきもの産地を「日本六古窯」と言います。瀬戸は、常滑、信樂、  
丹波、備前、越前とともに日本六古窯の一つに数えられています。



■ 「日本遺産」とは？

日本遺産(Japan Heritage)は、地域の  
歴史的の魅力や特色を通じて、我が国  
の文化・伝統を語るストーリーを文化  
庁が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力  
溢れる有形無形の様々な文化財群を、  
地域が主体となって総合的に整備・  
活用し、国内だけでなく海外へも戦略  
的に発信していくことにより、地域の活  
性化を図ることを目的としています。

東京2020オリンピック・パラリンピッ  
クに向けて約100件が認定されます。



日の丸は日本を表し、その下の縦格子  
のように見える繊細な線の集合は、よく  
見るとJAPAN HERITAGEの文字です。

■ 日本遺産に認定されたストーリー

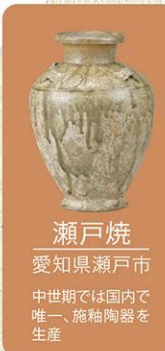
きと恋する六古窯-日本生まれ日本育ちのやきもの産地-

平安時代から今も連続とやきものづくりが続く瀬戸の  
まちは、丘陵地に残る大小様々の窯跡や工房へ続く細い  
坂道が迷路のように入り組んでいます。

陶片や窯道具を利用した堀沿いを進むと、「わび・  
さび」の世界へと自然と誘い込まれ、時空を超えてセピ  
ア調の日本の原風景に出会うことができます。



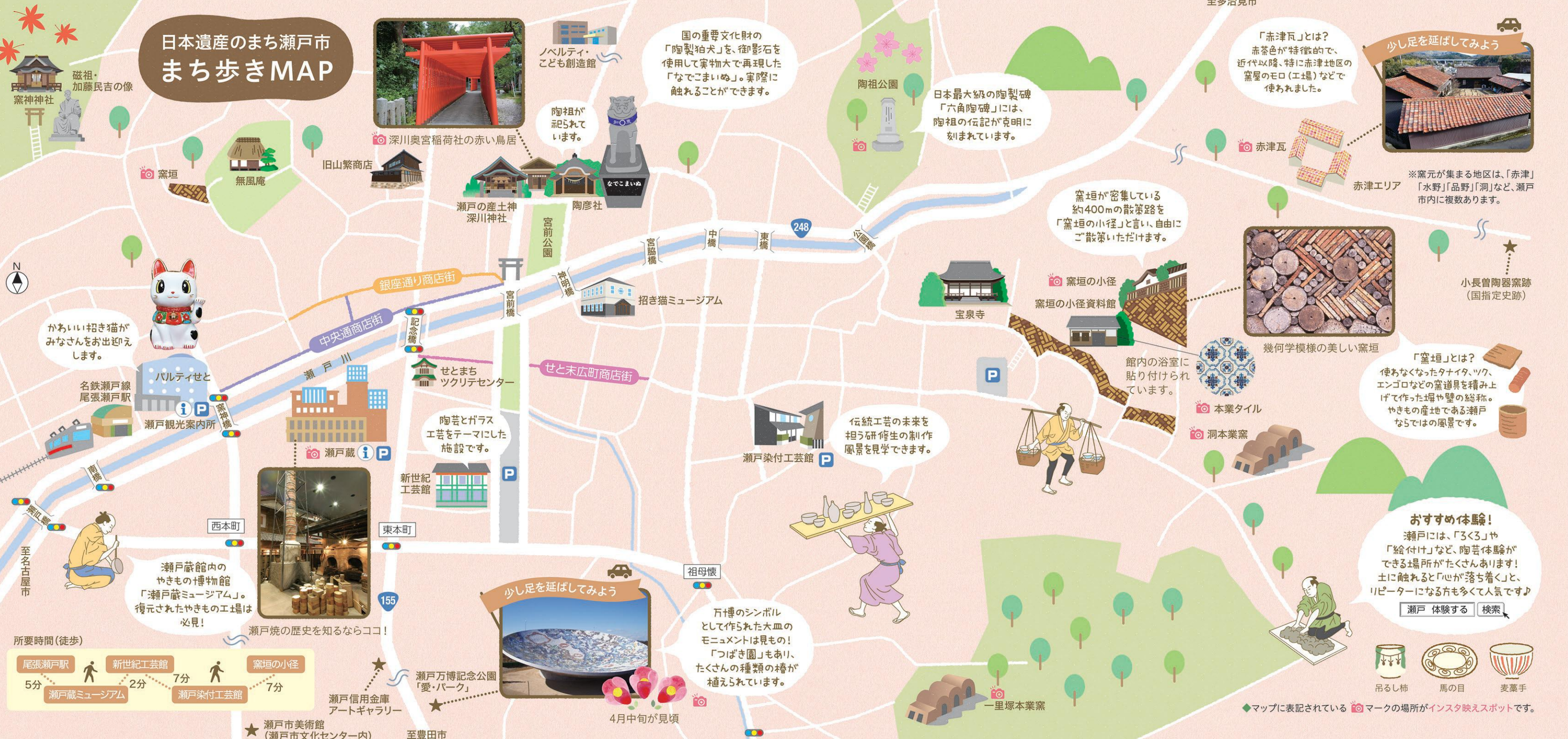
窯垣の小徑



瀬戸焼  
愛知県瀬戸市  
中世期では国内で  
唯一、施釉陶器を  
生産



# 日本遺産のまち瀬戸市 まち歩きMAP



## 瀬戸焼の ストーリー

瀬戸焼の物語は、はるか昔…千年以上も前から始まっていたのです。そこから現代へと連綿と続いてきたやきもの産地のストーリー。  
少し一緒にたどってみましょう。

### 10世紀 平安時代

瀬戸市域に初めて窯が築かれたのは平安時代後期(10世紀後半)のことです。植物の灰を釉薬にした灰釉陶器が焼かれるようになります。



### 16世紀 戦国時代

戦国時代になると一度により多くの製品が焼ける「大窯」が登場します。茶の湯の流行も相まって、天目茶碗・水指などの茶陶関係のものも量産されるようになります。



### 19世紀後半 明治時代

明治時代には、海外で開催されていた万国博覧会へ積極的に出品したことにより、欧米から高く評価され、それを契機に瀬戸で作られたやきものが多く輸出されます。

### 20世紀 昭和時代

ノベルティや飲器・タイル・衛生陶器・碍子・理化学用品などの生産が大幅に伸び、輸出を中心として瀬戸のやきものづくりは最盛期を迎えます。

- 10世紀
- 11世紀
- 12世紀
- 13世紀
- 14世紀
- 15世紀
- 16世紀
- 17世紀
- 18世紀
- 19世紀
- 20世紀

### 12~15世紀 鎌倉・室町時代

鎌倉・室町時代には、国内で唯一、釉薬を施した製品が瀬戸で焼かれ、日本全国に流通していきます。瀬戸のやきものを語る上で、欠かすことができないのが、陶祖・加藤四郎左衛門景正(藤四郎)。瀬戸で窯を開いたことで瀬戸焼の開祖となったと言われており、陶祖を偲ぶ祭り「せと陶祖まつり」が開催されています。(開催時期:4月の第3日曜と前日)

### 17~19世紀 江戸時代

尾張藩の庇護のもと、日用品を中心にやきものづくりが発展していきます。また、磁祖・加藤民吉が磁器の製法を九州で学び、瀬戸に伝えた19世紀初頭から本格的な磁器生産が開始されます。「せともの祭」は、この磁祖・加藤民吉の遺徳をたたえる産業祭として開催されています。(開催時期:9月の第2土・日曜)



せともの祭

現在、最先端技術を駆使した分野への進出など、陶都瀬戸の歴史を未来に向けて繋ぐ努力が続けられています。

「赤津瓦」とは? 赤茶色が特徴的で、近代以降、特に赤津地区の窯屋のモロ(工場)などで使われました。



※窯元が集まる地区は、「赤津」「水野」「品野」「洞」など、瀬戸市内に複数あります。



窯垣が密集している約400mの散策路を「窯垣の小径」と言い、自由にご散歩いただけます。



「窯垣」とは? 使わなくなったタナイタ、ツク、エンゴロなどの窯道具を積み上げて作った堀や壁の総称。やきもの産地である瀬戸ならではの風景です。



おすすめ体験! 瀬戸には、「3く3」や「絵付け」など、陶芸体験ができる場所がたくさんあります! 土に触れると「心が落ち着く」と、リピーターになる方も多くて人気です!



◆マップに表記されている📷マークの場所がインスタ映えスポットです。

国の重要文化財の「陶製狛犬」を、御影石を使用して実物大で再現した「なでこまいぬ」。実際に触れることができます。



日本最大級の陶製碑「六角陶碑」には、陶祖の伝記が克明に刻まれています。



伝統工芸の未来を担う研修生の制作風景を見学できます。



万博のシンボルとして作られた大皿のモニュメントは見もの! 「つばき園」もあり、たくさんの種類の椿が植えられています。



4月中旬が見頃

- 所要時間(徒歩)
- 尾張瀬戸駅 → 瀬戸蔵ミュージアム 5分
  - 尾張瀬戸駅 → 新世紀工芸館 7分
  - 新世紀工芸館 → 瀬戸染付工芸館 2分
  - 瀬戸蔵ミュージアム → 瀬戸染付工芸館 7分
  - 瀬戸蔵ミュージアム → 窯垣の小径 7分

★瀬戸市美術館(瀬戸市文化センター内) 至豊田市